

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

平成29年度
自己評価報告書

平成30年3月31日

上尾中央医療専門学校

目 次

本書の使い方.....	1	基準4 学修成果.....	29
1 学校の理念、教育目標.....	2	4-13 就職率.....	30
2 本年度の重点目標と達成計画.....	3	4-14 資格・免許の取得率.....	31
3 評価項目別取組状況.....	4	4-15 卒業生の社会的評価.....	32
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	5	基準5 学生支援.....	34
1-1 理念・目的・育成人材像.....	6	5-16 就職等進路.....	35
基準2 学校運営.....	8	5-17 中途退学への対応.....	36
2-2 運営方針.....	9	5-18 学生相談.....	37
2-3 事業計画.....	10	5-19 学生生活.....	39
2-4 運営組織.....	11	5-20 保護者との連携.....	42
2-5 人事・給与制度.....	13	5-21 卒業生・社会人.....	43
2-6 意思決定システム.....	14	基準6 教育環境.....	45
2-7 情報システム.....	15	6-22 施設・設備等.....	46
基準3 教育活動.....	16	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	48
3-8 目標の設定.....	18	6-24 防災・安全管理.....	50
3-9 教育方法・評価等.....	19	基準7 学生の募集と受入れ.....	52
3-10 成績評価・単位認定等.....	23	7-25 学生募集活動.....	53
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	25	7-26 入学選考.....	55
3-12 教員・教員組織.....	26	7-27 学納金.....	57

基準 8 財 務	5 8
8-28 財務基盤	5 9
8-29 予算・収支計画	6 1
8-30 監査	6 2
8-31 財務情報の公開	6 3
基準 9 法令等の遵守	6 4
9-32 関係法令、設置基準等の遵守	6 5
9-33 個人情報保護	6 7
9-34 学校評価	6 8
9-35 教育情報の公開	7 0
基準 10 社会貢献・地域貢献	7 1
10-36 社会貢献・地域貢献	7 2
10-37 ボランティア活動	7 4
4 平成 29 年度重点目標達成についての自己評価	7 5

本書の使い方

1 本書は平成 25 年 3 月、文部科学省が策定・公表した「専修学校における学校評価ガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)に示された「項目別の自己評価表(例)イメージ」及び「自己評価における評価指標・観点・参考資料一覧表(イメージ案)」などを参考に全体を構成しました。

また、評価項目は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構(以下「機構」という。)がガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を適用しています。

2 従来の「評価項目別取組状況」に「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」を加えることにより、ガイドラインに示されている PDCA を活用した自己評価を進めることができるようになっています。

3 ガイドラインでは、「項目別の自己評価表(例)イメージ」において取組状況を 1 から 4 の評語を用いて自己評定する様式を例示しています。このことから、本書でも「評価項目別取組状況」の小項目毎に評定欄を加えました。評語の考え方の例は、以下のとおりです。但し、評定については学校ごとの考え方により実施しない学校においては評定欄を削除してお使いください。

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

4 本書は、学校関係者評価を円滑に進めるために、記述のうち「学校の理念・教育目標」、「年度の重点目標と達成計画」、「年度の重点目標達成についての自己評価」など部分的にピックアップして評価を行うことができるように構成していますので、学校関係者評価実施においても活用できます。

5 本書はワード形式で作成しています。学校の考え方により適宜変更して使用してください。ご不明な点につきましては、機構事務局までお問い合わせください。

連絡先 03-3373-2914 info@hyouka.or.jp

1 学校の理念、教育目標

教 育 理 念	教 育 目 標
<p>上尾中央医療専門学校は、未来が求める「人」を育成します。 人としての基本的態度を土台に、医療人としての礼節と社会人として必要とされる能力(社会人基礎力)を持ち合わせ、専門的な知識・思考、技術を用いて対象者に治療提供できる。また、自己を内省し、問題解決ができる療法士を育成します。</p> <p>4つの教育理念 【社会人・医療人としての精神】 社会人としての礼節を基盤に、心身を病む人を思いやり、自己の役割と責任を担う力を育成する。</p> <p>【高度な自己学習能力】 生涯にわたって発展させるべき自己学習能力を育成する。</p> <p>【質の高い治療】 治療者として必要な基礎知識、思考、技術を有し、臨床に応用できる能力を育成する。</p> <p>【時代に即応できる人材】 治療技術のみでなく保健・医療・福祉各分野で広い視野を持ち、社会のニーズに即応できる臨床家を育成する。</p>	<p>社会人としての礼節と自覚、医療人としての共感的態度を持ち、倫理に基づいた思考・活動ができる能力を養う。</p> <p>内省的視野を持つことで自己の問題に気づき、それを解決する能力を養う。 広い視野を持ち、絶えず向上しようとする発展的自己学習能力を養う。</p> <p>専門職として必要な知識、思考過程、技術を修得し、科学的根拠に基づいた問題解決能力を養う。</p> <p>保健・医療・福祉の関連性や連携を意識し、チームの一員としての役割と責任が果たせる能力を養う。 また、常に社会情勢に目を向けニーズを把握し、将来起こりうる変化へ対応できる能力を養う。</p>

最終更新日付

2017年6月30日

記載責任者

高島 恵

2 本年度の重点目標と達成計画

平成29年度 重点目標	達成計画・取組方法
<p>1) 教育活動のさらなる充実</p> <p>①国家試験合格率 100%</p> <p>②就職率 100%</p> <p>③進級率 100% (進路変更などやむを得ない理由もあるため、実質的な目標数値は90%以上)</p> <p>④教員の研修参加率 全員60%以上 (年間予定本数*に対する参加本数) *年間予定本数は3本以上 *予定本数の現実性・実行予定・進捗確認などについて、自己管理と面談での確認を強化</p> <p>⑤教員研究 1人1研究実施 (教育・臨床などの分野は問わず) *研究実施予定・進捗確認などについて、自己管理と面談での確認を強化</p> <p>2) 将来を見据えた、透明性の高い学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価にて「適」となる ・第三者評価を経て、本校の強みを明確化する ・高校教員、保護者、実習指導者への学校公開の実施(各々年1回以上) ・学校の将来構想に見合った(教員要件に係る)人事規程等の完成 <p>3) 学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート「学校の施設・設備は十分に整っている」における肯定回答*率80%以上 (平成28年度は学生72%、保護者89%) <p>4) 学生募集活動の安定 (資料請求からのイベント参加率強化→受験者数の増加)</p> <p>①資料請求者総数 1,300件</p> <p>②イベント参加者(本人) 624人(延べ人数)</p> <p>③受験者数(PO合計) 162人(延べ人数)</p>	<p>1) 教育活動のさらなる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育の質」の継続的な向上(進級、国家試験、就職) ・教員の質向上(教員の専門性把握、研修研究の確実な実行) ・2年生新カリキュラム始動 ・系統的なキャリア教育の実施(「卒業生の社会的評価」の把握含む) ・実習施設の確保と連携 <p>2) 将来を見据えた、透明性の高い学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来構想の見直し ・第三者評価受審 ・学校公開の実施(高校教員、保護者、実習指導者等) ・情報公開の推進(教員一覧等) ・人財育成基盤の整備(教員要件に係る人事規程等) <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の採用 ・事務職員の意欲向上に向けた取り組み ・安全管理体制の徹底(規定整備、運用、法令遵守のための研修含む) <ul style="list-style-type: none"> ・関連諸団体との連携 <p>3) 学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習ニーズに応じた環境整備の検討 ・継続した修繕 ・学生の経済支援に関する検討 <p>4) 学生募集活動の安定 (資料請求からのイベント参加率強化→受験者数の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の活動時期に見合った募集活動の展開 ・効果的な広報、イベントについて継続的な検討 ・適切な入学試験による、アドミッションポリシーに合致した人財の選考

最終更新日付

2017年6月30日

記載責任者

高島 恵

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標・人材育成像を明確し、関連業界とも連携を図りながらその実現に向けて活動が行えている。 ・学生・保護者・関連業界等とより密接な連絡を図る為に、理念・目標・人材育成像の理解浸透を図っていく必要がある。 ・業界動向を見据えた、将来構想の見直し、および周知を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や保護者、関連業界へ説明を実施しているが、よりよい理解を得る為に時期、説明内容や方法を今後も継続的に検討する。 ・教育・理念・人材育成像について、適宜見直しを実施できる検討責任部署を明確化すると共に、計画を検討する。 ・平成29年度に中長期将来構想の再検討を行っている。継続して検討を行い、中長期将来構想が固まり次第、学生・保護者・関連業界への周知していく。 ・関連業界協力のもと、各種関連委員会の活動を継続し検討・検証していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標・人材育成について、学生はもとより、保護者に対し保護者会・学校公開日、高校教諭に対する説明会を通し理解を図っている。また、関連業界に対しても会議等を通じて適宜行い、理解と協力を得ている。

最終更新日付

2017年12月18日

記載責任者

神山 真美

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input checked="" type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等に応じた課程（学科）を設置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input checked="" type="checkbox"/> 理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標・育成人材を明文化し、リハビリテーション専門職としての特性も加味している。 ・理念を実現するために学年ごと段階的に目標設定している。 ・学生便覧、ホームページ・実習要綱等に明文化し、学生に対してはクラス内掲示と随時説明を実施。業界関係者へは会議等、保護者に対しては、入学式や保護者会(年1回)や文書を通じて説明を実施している。 ・学校アンケートで浸透度を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標・人材育成像を更に浸透度を上げることが必要である。 ・年1回程度に見直しが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や保護者、関連業界へ説明を実施しているが、よりよい理解を得る為に時期、説明内容や方法を継続的に検討する。 ・適宜、見直しを実施できる検討責任部署を明確化し計画を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧(学則) ・学校ホームページ ・パンフレット ・実習要綱 ・募集要項 ・保護者会資料 ・教育課程表 ・授業科目 ・時間割
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業界(カリキュラム委員会)の協力を得て、平成28年度より新教育課程へ改編した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連業界協力のもと学習効果の高い教育手法について今後も検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧 ・実習要綱 ・カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー ・カリキュラム委員会会議事録資料 ・カリキュラム委員依頼承諾書

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか <input checked="" type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input checked="" type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか		<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員・兼任教員採用について協力を得ている。 ・関連業界の協力を得て臨床実習を計画的に実施している。 ・カリキュラム委員会で授業見学および教育方法について検討を行っている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・講師委嘱契約書 ・実習施設登録書 ・臨床実習承諾書 ・カリキュラム委員会資料・会議議事録
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input checked="" type="checkbox"/> 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの特長を掲げ実施している。 ・関連業界と連携を図り実務知識・経験を教育へ反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更に質の高い職業実践教育を目指す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連委員会の活動を継続し検証していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット ・ホームページ（施設概要紹介）
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input checked="" type="checkbox"/> 中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・将来構想を定め中期事業計画を定めている。 ・社会動向、関連法規改変の情報収集と将来構想について再検討中。 ・教職員対象に説明会を実施し共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法規の変更も加味し、検討が必要である。 ・学生、保護者、関連業界への周知方法について検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に中長期将来構想について再検討中である。継続検討し方向性を定める。 ・また、方向性が固まり次第、学生、保護者、関連業界への周知を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中期構想※ ・中期事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標・人材育成像を明確し、関連業界とも連携を図りながらその実現に向けて活動が行えている。 ・学生・保護者・関連業界等とより密接な連絡を図る為に、理念・目標・人材育成像の理解浸透を図っていくことが必要である。また、将来構想の再検討および周知について今後も継続して検討していくことが必要である。 ・より質の高い教育の提供の為、継続的に検討が必要である。 	

最終更新日付

2017年12月18日

記載責任者

神山 真美

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標を踏まえた運営方針を定め、それを周知している。 ・「未来が求める人」を育成するため、実践教育の中に時代への即応も含め、それを達成するための事業計画を定めている。 ・定めた事業計画を基に年度ごとに組織を見直し、目標達成に見合う組織編制を検討し編成している。 ・設置法人の運営については学事課に適宜相談し、寄付行為の見直し含め実行している。 ・学校運営に必要な組織を整備し問題なく運営している。 ・人事・給与に関する規程と運用は特に問題なく実施されている。 ・意思決定システムに沿って迅速な意思決定がなされている。 ・情報システムが安全に効率よく機能するために、規程を用いた適切な運用がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な見直しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に沿った運営方針は、本校の母体グループである上尾中央医科グループとも連動するものとなっている。 ・理念等を達成するための事業計画は教育幹部会議および運営会議にて検討され、教育活動および学校運営の双方がかい離しない仕組みになっている。 ・学内教職員が使用するグループウェアを完備しており、そのシステムを活用しての報告・連絡・確認ができる体制を整えているため、情報共有が確実に行われている。

最終更新日付	2017年12月20日	記載責任者	高島 恵
---------------	-------------	--------------	------

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	<input checked="" type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか <input checked="" type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確保しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理念や目標等を踏まえ、運営方針等を文書化（キックオフミーティング資料）し、年度初めに周知している。 ・各部署や委員会において、キックオフミーティングの資料を持参し、随時方針確認をしている。 ・浸透については職能要件面談や普段の業務において口頭で確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会動向を踏まえた定期的な見直しが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職大学の動向や理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改変の動向を踏まえ、今年度に運営方針の見直しを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中期事業計画 ・キックオフミーティング資料（ミッションビジョン、年度目標、事業計画と到達指標、組織編制）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目標を踏まえた運営方針を定め、それを周知している。 	理念に沿った運営方針は、本校の母体グループである上尾中央医科グループとも連動するものとなっている。

最終更新日付	2017年12月20日	記載責任者	高島 恵
--------	-------------	-------	------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input checked="" type="checkbox"/> 中期計画（3～5年程度）を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・中期事業計画を定め、それと連動した単年度目標ならびに事業計画を立案し、それぞれの数値目標と業務分担を明確にし、年度初めに周知している。 ・前年度に事業計画案を作成し、予算編成を行っている。 ・事業の執行については事業進捗確認書を用いて執行・進捗管理を行い、毎月の職員会議での報告と半期ごとの確認・見直しを行っている。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・中期事業計画書 ・キックオフミーティング資料(ミッションビジョン、年度目標、事業計画と到達指標、組織編制) ・組織図 ・事業進捗確認書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・「未来が求める人」を育成するため、実践教育の中に時代への即応も含め、それを達成するための事業計画を定めている。 ・定めた事業計画を基に年度ごとに組織を見直し、目標達成に見合う組織編制を検討し編成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念等を達成するための事業計画は教育幹部会議および運営会議にて検討され、教育活動および学校運営の双方がかい離しない仕組みになっている。

最終更新日付	2017年12月20日	記載責任者	高島 恵
--------	-------------	-------	------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか <input checked="" type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の理事会および評議員会は、定期開催は年3回行われており、寄附行為に基づき適切に運営されている。 ・理事会にて必要な審議を行い、議事録を作成しその内容を記録している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・法人寄付行為 ・理事、監事、評議員名簿 ・理事会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局および教育部にて組織を整備し、組織図および校務分掌に関する規程を作成・周知している。また、会議や委員会の所掌事項を明確にしている。 ・委員会の決定権限は組織図および委員会規程にて明確になっており、委員会の開催ごとに議事録が作成され、学内教職員全員が見られるようグループウェア内で配信している。 ・規則・規定等は、必要に応じて運営会議にて改正される。 	・特になし。	・定期的な見直しの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学則（組織編制） ・組織図（意思決定規程を含む） ・校務分掌に関する規程 ・委員会分担 ・各種会議規定 ・稟議書 ・各種会議議事録 ・就業規程（人事含む） ・学則、細則

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか		・経理、総務、奨学金等の研修を受講し、業務に反映されている。学内にてビジネスマナー研修を実施している。	・特になし。	・特になし。	・事務職員研修計画 ・研修実績 ・CMS 資格認定試験合格証 ・ビジネスマナー研修の案内と参加者一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の運営については学事課に適宜相談し、寄付行為の見直し含め実行している。 ・学校運営に必要な組織を整備し問題なく運営している。事務職員の意欲向上に向けた取り組みを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学内教職員が使用するグループウェアを完備しており、そのシステムを活用しての報告・連絡・確認ができる体制を整えているため、情報共有が確実に行われている。

最終更新日付	2017年12月20日	記載責任者	高島 恵
--------	-------------	-------	------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか <input checked="" type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・上尾中央医科グループの人事規程を基本とし、本校の教員採用規程を整備・運用している。 ・ハローワークや職能団体等に求人情報を出し、必要な人財を確保している。 ・昇任・昇給は、給与規定や昇格規程により明確に定められ運用している。 ・人事考課制度があり、時期ごとの評価と面談がなされている。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則、人事規定、給与規定、昇給昇格制度 ・求人票 ・教員採用規程 ・教員名簿 ・人事考課規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・人事・給与に関する規程を整備し、適切に運用している。	

最終更新日付

2017年12月20日

記載責任者

高島 恵

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 各部署や委員会の立ち位置ならびに、上位組織を明確にしている。 意思決定は規定をもとになされ、各部署や委員会での決定事項と上位会議での決定事項が明確に定義されている。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 組織図（意思決定システム説明） 稟議書 議事録 各種会議規程 決定事項の集約（凡例）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・意思決定システムに沿って迅速な意思決定がなされている。	

最終更新日付	2017年12月20日	記載責任者	高島 恵
--------	-------------	-------	------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input checked="" type="checkbox"/> 情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか <input checked="" type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input checked="" type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 情報保護管理運用規程を整備しているとともに、定期的に会議を実施し、規程に沿った運用を実施している。 学生に関する情報は学外に持ち出すことを厳禁とし、学内サーバーと紙媒体で学生情報を管理し、必要に応じ閲覧できるよう整備している。 セキュリティー管理の一環として、閲覧権限は役職に応じて取り決められている。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 情報保護管理運用規程 情報管理委員会議事録 入試管理システム 成績管理システム 学籍簿 学生ファイル（面談記録等）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・情報システムが安全に効率よく機能するために、規程を用いた適切な運用がなされている。	

最終更新日付	2017年12月20日	記載責任者	高島 恵
--------	-------------	-------	------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・理念に基づき、ポリシー（アドミッション・カリキュラム・ディプロマ）を定め、教育を実践している。 ・カリキュラム委員会を設置し、規程を定め、教育課程編成に関する事項を継続して検討している。 ・カリキュラム委員会、学校関係者評価委員会にて、教育課程に対する、外部の意見聴取や評価を実施している。 ・卒業生・臨床セラピストに対し、教育課程、教育の効果に関するアンケート調査を実施し、教育課程改定、教育の質向上に活用している。 ・キャリア教育に関する方針を策定している。 ・就職支援、資格取得支援等、教育活動全般をとおして、様々なキャリア形成の支援を実施している。 ・職業実践教育の効果ならびにキャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を平成29年度よりアンケートにて実施し、分析・評価している。 ・学生自身の自己理解、キャリアプランニング能力等を高めていく支援が必要である。 ・学生および教員間による授業評価を実施しており、その結果は教員にフィードバックしている。 ・学則、学則施行細則にて成績評価、進級・卒業の基準を明確にし、学生便覧にて明示しているとともに、進級・卒業判定会議を実施し、客観性・統一性を確保している。 ・本分野における作品、技術等の発表の場はない、また、在学中における学会発表等は実施していない。 ・臨床実習や研究法において、症例報告等を実施している。また、各種学会開催の案内ポスターを掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より質の高い教育の実践のために、常に社会・臨床ニーズを捉え、定期的にポリシー、目標、教育課程、教育方法等の見直し、検討を実施していく。 ・今後も継続して、在校生・卒業生・就職先・関連する業界・機関等の意見聴取や評価を実施し、教育活動に繋げていく。 ・アンケートの分析、評価から、今後の教育活動に繋げていく。 ・学生自身の自己理解、キャリアプランニング能力等を高めていく支援を継続して実施していく。 ・授業評価結果のより効果的な活用について、継続して検討していく。 ・現状の体制を維持し、継続して運用していく。 ・各種学会開催の案内とともに、学事に合わせて学会参加等を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下記の本校8つ特色を掲げ、教育を実践している。 『徹底した情意教育』 『効果の高い学習方法の実践』 『充実した実習と効果的な配置』 『早期からの確実な就職支援』 『手厚い学生支援』 『上尾中央医科グループを基盤とした教育システム』 『卒業教育の充実』 『3年間の最短学習』

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士、作業療法士の養成校として、目標とする免許は、教育課程上で、明確に位置づけており、すべての科目が免許取得に必要なとなるとともに、各授業でその意義について伝えている。 ・免許の取得について、指導体制を整備しているとともに、不合格者に対しては卒業後、現役生の国家試験対策に無償で参加できる体制をとっている。 ・資格の内容・取得の意義について継続して学生に伝えていく必要がある。 ・国家試験対策ならびに3年間の教育活動を定期的に振り返り、検討、改善していく必要がある。 ・職能要件を定め、教員としてあるべき姿を明確にし、定期的に評価を実施している。 ・採用規程を策定している。 ・教員構成を明示しているが、その教員一覧・教員名簿の提示方法及び情報公開について見直し、検討が必要である。 ・教員の資質向上の取り組みとして、教員間・学生による授業評価の実施、職能要件・面談による把握・評価を実施している。 ・研修参加、研究活動の実施に関して、教員間に差がある。 ・設置基準及び指定規則に則り、教員を配置している。 ・校務分掌を作成しているとともに、適宜見直しを実施している。 ・各学科会議、教育幹部会等において連携・協力体制を構築している。 ・各学科会議、教育幹部会、カリキュラム委員会等にて、授業内容・教育方法の改善に取り組んでいる。 ・兼任（非常勤）教員と、本校理念・目標・ポリシー、科目の学習目標、授業内容、試験等に関する情報を共有している。 ・専任・兼任（非常勤）教員間の更なる連携・協力体制の強化に向けて、継続して取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格の内容・取得の意義について継続して学生に伝えていく。 ・国家試験対策ならびに3年間の教育活動を定期的に振り返り、検討、改善していく。 ・職能要件の活用を継続して実施していくと共に、その内容の修正、検討を継続して実施していく。 ・教員構成に関する、教員一覧・教員名簿の提示方法及び情報公開について見直し、検討を実施している段階である。 ・面談等を活用し、適切な研修計画を立案する。 ・研修計画に沿った研修参加を徹底する。 ・各教員がテーマをもち能動的に研究に取り組む。 ・適宜研修、研究実績の把握、共有を実施する。 ・専任・兼任（非常勤）教員間の更なる連携・協力体制の強化に向けて、継続して取り組んでいく。 	

最終更新日付	2017年12月1日	記載責任者	白石 和也
--------	------------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 理念に基づき、ポリシー（アドミッション・カリキュラム・ディプロマ）を定め、教育を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にポリシーの見直し、検討を実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にポリシーの見直し、検討を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムポリシー 職業教育に関する方針（ポリシー）、
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 理念に基づき、各学科・学年における目標を定め、明示している。 カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに則り、教育を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に目標の見直し、検討を実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に目標の見直し、検討を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学科別3年間目標 カリキュラムポリシー ディプロマポリシー 教育課程表 本校の養成課程全体像

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> 理念に基づき、各学科・学年における目標、ならびにポリシー（アドミッション・カリキュラム・ディプロマ）を定め、教育を実践している。 より質の高い教育の実践のために、常に社会・臨床ニーズを捉え、定期的にポリシー、目標の見直し、検討を継続して実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校8つ特色を掲げ、教育を実践している。

最終更新日付

2017年12月1日

記載責任者

白石 和也

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか <input checked="" type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム委員会を設置し、規程を定め、教育課程編成に関する事項を継続して検討している。 ・指定規則・指導要領に則り、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の科目を配置している。 ・学則、教育課程表にて修了に係る授業時数、単位数、条件を明示している。 ・卒業時、各学年の目標から、各科目の目標、各授業の目標を設定している。 ・科目の目標を到達するための内容を担保しているとともに、その検討においては、理学・作業療法士協会、教育ガイドラインを参考にしている。 ・より質の高い教育の実践のために、教育・授業の方法・内容・形態・教材等に関して各学科、各委員会にて検討し、実践に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に教育課程および教育方法の見直し、検討を実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に教育課程および教育方法の見直し、検討を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム委員会規程 ・カリキュラム委員会議事録 ・学則 ・教育課程表 ・シラバス ・本校の養成課程全体像

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか <input checked="" type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目について授業計画(シラバス・コマシラバス)を作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか		<ul style="list-style-type: none"> ・科目のシラバスおよび各授業の学習目標を作成しているとともに、各学科で定期的に内容の確認、改善を実施している。 ・常に社会・臨床ニーズを捉え、教育課程の見直し、検討を実施している。 ・平成28年度入学生から新しい教育課程へ移行 ・全ての科目を必修科目としており、登録作業、選択科目はなし。 			
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム委員会にて、外部委員として関連する業界・機関等のセラピストを迎え会議を実施している。 ・卒業生・臨床セラピストに対し、教育課程、教育の効果に関するアンケート調査を実施し、教育課程改定、教育の質向上に活用している。 ・職業実践教育の効果について、卒業生・就職先への意見聴取を平成29年度よりアンケートを実施し、分析・評価している。今後の教育活動に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、在校生・卒業生・就職先・関連する業界・機関等の意見聴取や評価を実施し、教育活動に繋げていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、在校生・卒業生・就職先・関連する業界・機関等の意見聴取や評価を実施し、教育活動に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム委員会規定 ・カリキュラム委員会(外部委員含む)会議事録、その他資料 ・卒業生・臨床セラピストアンケート調査結果

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか <input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育に関する指針・方針を策定している。 就職支援、資格取得支援等、教育活動全般をとおして、様々なキャリア支援を実施している。 キャリア教育の効果について、卒業生・就職先への意見聴取を平成29年度よりアンケートにて実施し、分析・評価している。今後の教育活動に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生自身の自己理解、キャリアプランニング能力等を高めていく支援が継続して必要である。 今後も継続して、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を実施し、教育活動に繋げていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生自身の自己理解、キャリアプランニング能力等を高めていく支援を継続して実施していく。 今後も継続して、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を実施し、教育活動に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育に関する指針・方針 教育課程表 シラバス 卒業生・臨床セラピストアンケート調査結果
3-9-4 授業評価を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 授業評価を実施する体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 各科目において学生および教員間による授業評価を実施している。 カリキュラム委員会、学校関係者評価委員会にて、外部委員による授業見学、意見交換を実施している。 各々の授業評価の結果は、教員にフィードバックされ、より質の高い教育活動に実践、検討に活かされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価結果のより効果的な活用について、継続して検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価結果のより効果的な活用について、継続して検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員間講義評価の流れ 学生および教員間による授業評価実績 評価結果の分析・活用を示す資料 カリキュラム委員会会議議事録、その他資料 教員へのフィードバック体制

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムポリシーを定め、教育を実践している。 ・理念に基づき、各学科・学年における目標を定め、明示している。 ・カリキュラム委員会を設置し、規程を定め、教育課程編成に関する事項を継続して検討している。 ・より質の高い教育の実践のために、常に社会・臨床ニーズを捉え、定期的にポリシー、目標、教育課程、教育方法等の見直し、検討を実施していく。 ・カリキュラム委員会、学校関係者評価委員会にて、教育課程に対する、外部の意見聴取や評価を実施している。 ・卒業生・臨床セラピストに対し、教育課程、教育の効果に関するアンケート調査を実施し、教育課程改定、教育の質向上に活用している。 ・職業実践教育の効果ならびにキャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を平成29年度よりアンケートにて実施し、分析・評価している。今後の教育活動に繋げていく。 ・キャリア教育に関する方針を策定している。 ・就職支援、資格取得支援等、教育活動全般をとおして、様々なキャリア形成の支援を実施している。 ・キャリア教育の効果について、今後、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を実施していく必要がある。 ・学生自身の自己理解、キャリアプランニング能力等を高めていく支援を継続して実施していく。 ・学生および教員間による授業評価を実施しており、その結果は教員にフィードバックしている。 ・授業評価結果のより効果的な活用について、継続して検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校8つ特色を掲げ、教育を実践している。

最終更新日付

2017年12月1日

記載責任者

白石 和也

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、学則施行細則にて成績評価、進級・卒業の基準を明確にし、学生便覧にて周知しているとともに、進級・卒業判定会議を実施し、客観性・統一性を確保している。 ・他校で取得した単位の認定について、既修得単位認定の規程を定め適切に運用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の体制を維持し、継続して運用していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の体制を維持し、継続して運用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則、学則施行細則 ・成績評価基準 ・実習評価基準 ・進級判定、卒業判定会議資料等
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・本分野における作品、技術等の発表の場はない、また、在学中における学会発表等は実施していない。 ・臨床実習や研究法において、症例報告等を実施している。また、各種学会開催の案内ポスターを掲示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学会開催の案内とともに、学事に合わせて学会参加等を促していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学会開催の案内とともに、学事に合わせて学会参加等を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習レジュメ ・研究法発表資料等

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。 ・現状の体制を維持し、継続して運用していく。 ・本分野における作品、技術等の発表の場はない、また、在学中における学会発表等は実施していない。 ・臨床実習や研究法において、症例報告等を実施している。また、各種学会開催の案内ポスターを掲示している。 ・学事に合わせて学会参加等を促していく。 	

最終更新日付	2017年12月1日	記載責任者	白石 和也
--------	------------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input checked="" type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4	<p>・理学療法士、作業療法士の養成校として、目標とする免許は、教育課程上で、明確に位置づけており、すべての科目が免許取得に必要となるとともに、各授業でその意義について伝えている。</p>	<p>・資格の内容・取得の意義について継続して学生に伝えていく必要がある。</p>	<p>・資格の内容・取得の意義について継続して学生に伝えていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間割 ・教育課程表 ・シラバス ・カリキュラムポリシー
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4	<p>・免許の取得について、指導体制を整備しているとともに、不合格者に対しては卒業後、現役生の国家試験対策に無償で参加できる体制をとっている。</p>	<p>・国家試験対策ならびに3年間の教育活動を定期的に振り返り、検討、改善していく必要がある。</p>	<p>・国家試験対策ならびに3年間の教育活動を定期的に振り返り、検討、改善していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策資料 ・卒後の指導体制に関する資料等

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけている。 ・資格・免許取得の指導体制は整備されている。 ・資格の内容・取得の意義について継続して学生に伝えていく必要がある。 ・国家試験対策ならびに3年間の教育活動を定期的に振り返り、検討、改善していく必要がある。 	

最終更新日付	2017年12月1日	記載責任者	白石 和也
--------	------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の採用計画・配置計画を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・専修学校設置基準第四十一条（教員の資格）及び理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に則り、教員を配置している。 ・職能要件を定め、教員としてあるべき姿を明確にし、定期的に評価を実施している。 ・教育課程・担当教員一覧にて各科目、担当教員を明示している。 ・教員名簿を作成している。 ・採用規程を策定している。 ・科目担当表にて専任教員一人当たりの授業時数を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員構成を明示しているが、その教員一覧・教員名簿の提示方法及び情報公開について見直し、検討が必要である。 ・職能要件に沿った、系統別能力開発、また、適切かつ効果的な教職員評価・教育を実施し、教育の質の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員構成に関する、教員一覧・教員名簿の提示方法及び情報公開について見直し、検討を実施している段階である。 ・職能要件の活用を継続して実施していくと共に、その内容の修正、検討を継続して実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格・要件等採用基準に関する文書（指定規則・指導要領、採用規程、職能要件） ・関連業界等への適合性に関する資料 ・教員一覧・教員名簿 ・専任・兼任授業時間数などの資料

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間、学生による授業評価の実施、職能要件・面談による把握・評価を実施している。 ・各教員が研修計画を定めている。 ・テーマを持ち研究に取り組んでいる。 ・教職員研修規程を定め運用している。 ・臨床研修を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修参加、研究活動の実施に関して、教員間に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等を活用し、適切な研修計画を立案する ・研修計画に沿った研修参加を徹底する ・各教員がテーマをもち能動的に研究に取り組む ・適宜研修、研究実績の把握、共有を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員一覧 ・教員名簿 ・研修計画・実績 ・関連業界との連携による研修会実績 ・研究業績一覧 ・自己啓発への支援制度（教職員研修規程）
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input checked="" type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準及び指定規則に則り、教員を配置している。 ・校務分掌を作成するとともに、適宜見直しを実施している。 ・各学科会議、教育幹部会等において、連携・協力体制を構築している。 ・各学科会議、教育幹部会、カリキュラム委員会等にて、授業内容・教育方法の改善に取り組んでいる。 ・兼任（非常勤）教員と、本校理念・目標・ポリシー、科目の学習目標、授業内容、試験等に関する情報を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任・兼任（非常勤）教員間の更なる連携・協力体制の強化に向けて、継続して取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任・兼任（非常勤）教員間の更なる連携・協力体制の強化に向けて、継続して取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定規則 ・指導ガイドライン ・組織図 ・校務分掌 ・意思決定等規程 ・学科会議、教育幹部会、各委員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職能要件を定め、教員としてあるべき姿を明確にし、定期的に評価を実施している。 ・ 採用規程を策定している。 ・ 教員構成を明示しているが、その教員一覧・教員名簿の提示方法及び情報公開について見直し、検討を実施している。 ・ 職能要件の活用を継続して実施していくと共に、その内容の修正、検討を継続して実施していく。 ・ 教員間、学生による授業表の実施、職能要件・面談による把握・評価を実施している。 ・ 面談等を活用し、適切な研修計画を立案する。 ・ 研修計画に沿った研修参加を徹底する必要がある。 ・ 各教員がテーマをもち能動的に研究に取り組む必要がある。 ・ 適宜研修、研究実績の把握、共有を実施していく。 ・ 指定規則・指導要領に則り、教員を配置している。 ・ 校務分掌を作成しているとともに、適宜見直しを実施している。 ・ 各学科会議、教育幹部会等において連携・協力体制を構築している。 ・ 各学科会議、教育幹部会、カリキュラム委員会等にて、授業内容・教育方法の改善に取り組んでいる。 ・ 兼任（非常勤）教員と、本校理念・目標・ポリシー、科目の学習目標、授業内容、試験等に関する情報を共有している。 ・ 専任・兼任（非常勤）教員間の更なる連携・協力体制の強化に向けて、継続して取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校8つ特色を掲げ、教育を実践している。

最終更新日付	2017年12月1日	記載責任者	白石 和也
--------	------------	-------	-------

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>【就職率】 ・本校は上尾中央医科グループの1施設であり、就職に関するセミナーおよび面接試験については、上尾中央医科グループ協議会人事部の指導を受ける機会を設けている。</p> <p>【国家試験対策】 ・1年生～3年生の授業内容は国家試験出題レベルに準拠している。 ・3年生時には4ヶ月間の国家試験対策を実施しているが、卒業生全員合格には到っていない。 ・国家試験対策に関する教員向けセミナーに参加し、より効果的・効率的な学習方法の教授、学習環境の整備についての伝達講習会を実施している。</p> <p>【卒業生の社会的活躍】 ・上尾中央医科グループ内の施設病院に入職した卒業生とは、各種会議で直接顔を合わせることも多いため状況を把握しやすい。 ・臨床実習において教員が実習施設を訪問したい際には必ず、卒業生の近況を伺い現況把握に努めている。 ・上尾中央医科グループ外の施設に入職したもの、上尾中央医科グループから上尾中央医科グループ外に職場を移した者については情報を捕捉する手段が希薄であり現況把握ができていない卒業生もある。 ・研究実績は、インターネット上に開示されている各種学会への演題登録情報をもとに把握した。</p>	<p>【就職率】 ・社会における理学療法、作業療法の需要を維持できるように優秀な卒業生を輩出し続ける。</p> <p>【国家試験対策】 ・国家試験対策のふりかえりを行い、対策の精度を高める。 ・国家試験対策に関する教員向けセミナーへの参加によって得られたノウハウを伝達講習で教員への周知を継続する。</p> <p>【卒業生の社会的活躍】 ・アンケートはマークシートと自由記載の形態をとり所属長に直接郵送することで回収率向上を図る。</p>	<p>【就職率】 ・3年課程の2年生9月、現場の職員と学生の交流会を持ち、就職希望の定め方や臨床実習についてのアドバイスを頂く会を実施している。 ・2年生の3月には上尾中央医科グループ軽井沢保養所にて学生と上尾中央医科グループ各施設の所属長が交流する機会を設けている。 ・3年生4月上旬には上尾中央医科グループ各施設が本校講堂に一堂に会して説明ブースを展開しての就職説明会が開かれている。 ・上尾中央医科グループの施設に就職を希望するものについては、早期の就職試験が実施されている。</p> <p>【資格取得対策】 ・合格率のホームページへの掲示については合格率のみならず受験者数を明記し透明性を高めている。 ・左記の対策に加えて、国家試験不合格者に対しては卒業後、現役生の国家試験対策（3年生）に無償で参加できる体制をとっており成果を上げている。</p> <p>【卒業生の社会的活躍】 ・上尾中央医科グループに就職した者に関しては、卒業後、グループ内の各種会議で直接顔を合わせることも多いため状況を把握しやすい。 ・教員が、臨床実習の実習施設を訪問した際には、卒業生の近況を確認している。</p>

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	梅津 聡
--------	-------------	-------	------

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか <input checked="" type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	・就職率は100%を目標に設定している。 ・全学生の就職活動を把握している。 ・業界の就職状況は求人数などを通じて把握している。 ・関連企業と合同で就職セミナーや就職説明会を実施している。 ・就職率等のデータは学内のサーバーに保管している。	・特になし。	・特になし。	・過去3年間卒業者就職者数・就職率データ ・過去3年間の求職者就職者数・就職率データ ・過去3年間の専門就職者・就職率データ ・就職活動の目標達成に関するデータ ・学生の就職活動報告書 ・採用試験の受験状況合否に関するデータ ・就職ガイダンス資料 ・秋の交流会資料 ・春の交流会資料 ・合同就職説明会資料 ・実習承諾書 ・キャリア教育に関する資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・本校は上尾中央医科グループの1施設であり、就職に関するセミナーおよび面接試験については、上尾中央医科グループ協議会人事部の指導を受ける機会を設けている。	・3年課程の2年生9月、現場の職員と学生の交流会を持ち、就職希望の定め方や臨床実習にいてのアドバイスを頂く会を実施している。 ・2年生の3月には上尾中央医科グループ軽井沢保養所にて学生と上尾中央医科グループ各施設の所属長が交流する機会を設けている。 ・3年生4月上旬には上尾中央医科グループ各施設が本校講堂に一堂に会して説明ブースを展開しての就職説明会が開かれている。 ・上尾中央医科グループの施設に就職を希望するものについては、早期の就職試験が実施されている。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	梅津 聡
--------	-------------	-------	------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の合格率については100%を目指している。 ・国家試験対策の一環として外部講師の特別講義（解剖学、生理学）を実施している。 ・合格率の推移、全国平均との比較を毎年行い、結果をホームページ上で公開している。 ・国家試験対策については例年事後のふりかえりを実施している。 ・より効果的・効率的な学習方法の教授、学習環境の整備について引き続き検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生全員合格には到っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策のふりかえりと対策検討を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キックオフミーティング資料 ・特別講義の講義記録と資料 ・既卒生の国家試験対策参加の規程と承諾書 ・過去3年間の各学科の資格取得率データ ・合格実績・合格率に関する本校のデータ ・国家試験セミナーの伝達講習記録 ・国家試験対策の振り返り各科3年生担当の記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生～3年生の授業内容は国家試験出題レベルに準拠している。 ・3年生時には4ヶ月間の国家試験対策を実施している。 ・国家試験対策に関する教員向けセミナーに参加し、より効果的・効率的な学習方法の教授、学習環境の整備について検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合格率のホームページへの掲示については合格率のみならず受験者数を明記し透明性を高めている。 ・左記の対策に加えて、国家試験不合格者に対しては卒業後、現役生の国家試験対策（3年生）に無償で参加できる体制をとっており成果を上げている。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	梅津 聡
--------	-------------	-------	------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習時の実習施設訪問にて卒業生に関する情報を入手し記録にまとめ学科内で共有し検討している。 ・実習施設訪問記録用紙に卒業生の社会的評価について記す項目を設けることで現況把握に努めている。 ・就職先所属長と本人に対するアンケートを発送し社会的活躍についてのデータを項目ごと集計、グラフ化し傾向を把握している。 ・研究実績等はアンケートにて把握するとともに、最近のものを、インターネットに開示されている各種学会への演題登録を検索することで把握した。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生へのアンケート結果（現在の職位、学会での発表、所属している部署） ・インターネット検索による学会発表に関するデータ ・アンケート結果を円グラフにした一覧 ・実習施設訪問記録 ・実習施設訪問記録から聴取内容をまとめた記録（各学科別） ・キャリア教育委員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・本校は上尾中央医科グループの1施設であり、上尾中央医科グループ内の会議等で臨床現場の職員と教員の接触がもたれており、顔の見える関係が維持されている。 ・卒業生の活躍などの情報が臨床現場からもたらされることが多い。 ・実習施設訪問記録用紙に卒業生の社会的評価について記す項目を設けることで現況把握に努めている。記載された情報は、理学・作業の各学科でまとめて学科内で検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒後、上尾中央医科グループ内の各種会議で直接顔を合わせることも多いため状況を把握しやすい。 ・上尾中央医科グループ外の施設に入職したもの、上尾中央医科グループから上尾中央医科グループ外に職場を移したものについての情報を捕捉する手段が希薄であるため現況を把握できていない卒業生もある。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	梅津 聡
--------	-------------	-------	------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・就職に関しては上尾中央医科グループを母体としているため、両学科とも就職率 100%が維持できている。また、協議会・関連施設とも連携しながら就職に必要な知識・技術のトレーニングが提供できている。 ・退学者に関しては、毎年数名いるが学業不振が理由となることが多い為、個別指導を強化しながら対応している。 ・臨床心理士による学生相談室を設置した。 ・学生生活に関して、減免制度や大規模災害時の対応が未整備となっている。作業療法学科の奨学金制度は28年度より開始となった。また、寮の整備は難しく不動産業者の紹介を継続していく。 ・保護者とは密な連携が図られている。また、保護者会の開催や、アンケートなどにより連携を強化している。 ・卒業生の卒後教育研修はOB会との連携により実施している。 ・社会人独自の対応は昼間部で同一で行っている関係上、既修得単位認定以外の対策は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学業不振による退学者の減少を目指して、より個別指導の強化を図っていく。また、経済的な理由からの退学に関しては、公的制度の紹介を含めて個別対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生は受け入れ実績がない。 ・寮の整備は今後も実施しないが、不動産業者の紹介は継続していく。

最終更新日付

2017年12月22日

記載責任者

加藤 研太郎

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか <input checked="" type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか <input checked="" type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか <input checked="" type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか <input checked="" type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次より就職に関するガイダンスを実施している。 ・上尾中央医科グループ施設の職員との交流会の設定をしている。 ・希望施設や内定状況について定期的に学内で共有している。 ・就職説明会を開催している。(履歴書の添削、面接指導) ・就職に関する個別相談を実施している。(教員による) ・進路を決めるにあたり、自己の価値観を知る機会を担保している。 ・就職関連書類の整備をしている。 ・キャリアサポート委員会による統括を実施している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・就職状況一覧 ・就職ガイダンス ・交流会(春・秋)資料 ・就職説明会資料 ・学科会議議事録 ・就職オリエンテーション資料 ・組織図(役割分担)

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
・就職に関する体制は十分取れている。就職の実績に関しても両学科とも100%を維持できている。	

最終更新日付

2017年12月22日

記載責任者

加藤 研太郎

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> 各学科・各学年で半期ごとに教育活動の振り返りを実施し、クラスごとの課題点を全教員で把握し、教育活動を行っている。 学生の個別相談の記録は閲覧可能としている 気になる学生は定期的に会議において共有している。 臨床心理士による学生相談室を設置し、心理面の問題に対して対策している。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義評価にて評価の低い科目や項目を中心に見直す必要がある。 学業不振の学生に対して個別指導を実施しているが、指導量および質に関して見直しの必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育力向上および個別指導時間の捻出について、具体的な方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談記録 退学の経緯報告 学科会議議事録 退学者数の推移(キックオフ資料) 学生相談室規程 要因別推移

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<ul style="list-style-type: none"> 現状として、退学者なしではないが退学の原因把握を学科で検討し、予防策をより強化している。 	

最終更新日付

2017年12月22日

記載責任者

加藤 研太郎

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> 相談室規程は整備されている（周知含め）。 上尾中央医科グループを母体としている学校法人のため、関連施設とは連携できている。 作業療法学科教員の心理面のサポートがある 臨床心理士による学生相談室を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年担当者以外の相談記録を整備する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録方法やフォーマットの見直しを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生相談に関する規程（学生便覧） 上尾中央医科グループの施設一覧 学生相談室の案内 予約表 臨床心理士の勤務表
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	—	<ul style="list-style-type: none"> 留学生の受け入れの実績がない。 専属の担当はいないが、問い合わせに関して随時運営会議にて検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 非該当。 	<ul style="list-style-type: none"> 非該当。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・学生相談の規程は整備し、周知されているが学生からの相談がない。ファーストコンタクトは学年担当に行くことがほとんどで、学年担当で問題解決が図られている。 ・心理系の専門職との連携を強くしていく必要がある。 ・臨床心理士による学生相談室を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れ実績はないが、該当者が出た場合には運営会議にて検討している。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	加藤 研太郎
---------------	-------------	--------------	--------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input checked="" type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学費は元々前後期の分納にしている。 ・作業療法学科のみだが学校独自の奨学金制度を開始した。 ・特段の事情がある場合学費の延納・分納などを認めている。 ・経済的な支援に関する相談には個別に対応している。 ・奨学金制度に関する説明会は定期的を開催している。 ・元々学費を低く設定しているため、さらなる減額は困難である。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の議事録 ・延納願フォーマット ・奨学金説明資料 ・経済支援の利用実績（日本学生支援機構のホームページ） ・上尾中央医科グループ奨学金貸与規程
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input checked="" type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画の策定している。 ・定期検診は年1回実施し、有所見者には再受診を促し、再受診の結果を提出させている。 ・健康情報に関する啓発を実施している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画 ・掲示物（啓発資料） ・健康診断書コピー ・上尾中央医科グループの施設一覧 ・健康診断実施要項 ・保健室利用規程 ・保健室利用記録 ・学校医契約書 ・ワクチン接種控え

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか		<ul style="list-style-type: none"> ・上尾中央医科グループを母体としているので、近隣にある関連施設とは連携できている。 ・掲示物にて啓発している。 			
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	—	<ul style="list-style-type: none"> ・遠方からの入学者には不動産業者の紹介をしている。 ・入学者の大半が埼玉県内の自宅から通学している。 ・生活指導は学年担当を中心に職員全員で実施している。 	・非該当。	・非該当。	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産業者の紹介資料 ・学校のホームページ
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大会がある場合は教員が同行し、怪我などの対応を実施している。 ・部員の把握はできている。 ・設立時の古い記録のままとなっている。 ・総会資料が予算のみの記載となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績の把握を行う必要がある。 ・書類にて変更の更新を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会資料への活動状況の記載の徹底などの方法を検討していく。 ・書類の更新方法の検討をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会総会資料（支援資料） ・教員の引率実績（勤務表） ・学生団体設立変更解散届

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none">・寮については整備が難しい状況である。・健康相談にのる専門職員の雇用についても難しいので、近隣の関連施設への受診を促している。・医療系の専門職のため、初期対応は可能である。	

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	加藤 研太郎
--------	-------------	-------	--------

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・半期ごとに成績表送付の際に状況報告の文書を同封している。 ・再試験該当者には保護者連絡を実施している。 ・年1回、保護者会を開催し、クラスの状況報告と個別相談の時間を設けている。 ・保護者の緊急連絡先は入学時に聴取している。 ・保護者との面談記録を保管している。 ・学校公開日を設定している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の議事録 ・成績管理システム(緊急連絡先) ・保護者への送付文 ・保護者会の資料 ・学校公開日の案内

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携は密に取れている環境である。 ・成績不振な学生には、必要に応じて連絡を入れている。 ・実習においても進行が滞っている場合は保護者に一報を入れている。 ・精神面でも不安がある場合には保護者と相談しながらサポートしている。 	

最終更新日付

2017年12月22日

記載責任者

加藤 研太郎

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input checked="" type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・OB会を組織し、運営に関する相談窓口を設けている。 ・OB会と連携しながら卒業教育の一環としての研修会を開催している。 ・研究や再就職に関してサポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路相談の記録を整備する必要がある。 ・研究支援に関する書類の整備をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な支援体制の体系化を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・OB会会則 ・総会資料（事業計画書収支報告） ・研修会資料 ・学会抄録（研究活動支援資料） ・卒業研修の案内・資料
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input checked="" type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学会発表などの研究活動は実施している。 ・職能団体からの依頼での研修会を開催している。 ・職能団体の活動へ参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学会抄録 ・委嘱状（県士会） ・県士会の委員名簿 ・県士会の組織図
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input checked="" type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input checked="" type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input checked="" type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	-	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前に既修得単位の認定を実施している。オープンキャンパスや説明会などで個別相談を実施している。 ・夜間部がないので、社会人と現役生の区別をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非該当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非該当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧 ・既修得単位認定に関する規程（学則） ・入学前説明会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生に対するキャリアアップの講座の開催はOB会と連携して実施している。 ・研究活動や再就職に関するサポートを体系化したものにしていく。 ・既修得単位認定以外は社会人だけ別対応するような規程は整備していない。（昼間部のみで現役・社会人の扱いが同一の為） 	

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	加藤 研太郎
--------	-------------	-------	--------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・教育上の必要性に対応する施設・設備・機器類を備え、基準より多い数量、種類の教育用具の充実を図っている。 ・校内は建築時よりバリアフリー化の対策済み。 ・希望する卒業生には、必要に応じ施設・設備を提供している。 ・施設・設備の安全管理に関する点検をし、改修・更新等の対応をしている。 ・学外実習では年3回の実習指導者研修会等を実施し指導者との交流を深めると共に学生指導の問題共有を図っている。 ・発生すると学生や職員の生命や心身に危害をもたらす事態に加え、学校の信頼性を損なう事態に対し、未然防止の対応及び緊急事態発生時の対応について、行動マニュアルを整備している。ただし職員への周知についてはまだ十分とはいえない。 ・消防設備点検は、法令に基づき実施している。 ・学校の実情に応じた学校安全計画を策定している。 ・防災訓練を年1回実施し、併せて防災研修も行い防災に対する意識を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機別行動マニュアルの教職員への周知を図るため朝礼や職員会議、グループウェアで周知をおこなっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育上必要な専門図書、学術雑誌の他、国家試験の問題集を配架しており、年2回の蔵書点検を実施し、適切に管理をおこなっている。各学科に予算を充て、年々充実を図るとともに、学生の利用を促進するため教員によるお薦め本の紹介等をおこなっている。 ・建物の内外にはラウンジや広場等のオープンスペースを随所に設けており、学生間、学生・教職員間の交流が図れる場所となっている。また、各部屋の配置は用途別で分かれており、機能的で分りやすい配置となっている。 ・安全に関する職員の研修を年1回実施している。今年度は県政出前講座を利用し、情報セキュリティーについての研修会を実施予定。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	真下 博子
--------	-------------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか <input checked="" type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか <input checked="" type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・指定規則、関係法令等を遵守し基準より多い数量、種類を備えている。 ・指定規則に準じ整備している。 ・図書については年々充実を図っている。 ・普通教室、ラウンジにて確保している。 ・開校時よりバリアフリー化されている。 ・外部委託の清掃員による清掃を1日数回している。 ・施設利用規程を定め、必要に応じ提供している。 ・日常点検、定期点検の記録をし、補修についてはその都度対応している。 ・早急に対策が必要なものから予算計画を定め、順次執行している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳 ・竣工図 (建築・設備・電気) ・施設使用に関する事項 (学生便覧) ・図書目録 ・施設利用許可願 ・施設・設備類の契約書 ・学校日誌 ・物品管理週間実施要項 ・予算計画書 ・実施報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・教育上の必要性に対応する施設・設備・機器類を備え、基準より多い数量、種類の教育用具の充実を図っている。 ・校内は建築時よりバリアフリー化の対策済み。 ・希望する卒業生には、必要に応じ施設・設備を提供している。 施設・設備の安全管理に関する点検をし、改修・更新等の対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育上必要な専門図書、学術雑誌の他、国家試験の問題集を配架しており、年2回の蔵書点検を実施し、適切に管理をおこなっている。 各学科に予算を充て、年々充実を図るとともに、学生の利用を促進するため教員によるお薦め本の照会等をおこなっている。 ・建物の内外にはラウンジや広場等のオープンスペースを随所に設けており、学生間、学生・教職員間の交流が図れる場所となっている。 また、各部屋の配置は用途別で分かれており、機能的で分りやすい配置となっている。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	真下 博子
--------	-------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input checked="" type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学外実習はカリキュラムに位置づけており、養成課程の特長を踏まえた効果的な時期に配置している。 ・在学期間を通じた実習要綱を完備し、どの学年においても全ての実習に関して確認でき、これまでの経験や実習状況も集約され、ポートフォリオの役割も果たしている。 ・実習指導者会議を、指導者への説明と協議の場としている。実習中は電話連絡と実習訪問により状況把握に努めている。 ・海外研修を2年次に設定している。(アメリカ) ・卒業生への行事案内はホームページの卒業生ページを活用して実施している。 ・臨床実習指導者を実習事後セミナーに招き実習上の課題を討議している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学則（教育課程表） ・実習要綱および評価冊子 ・実習承諾書 ・実習指導者会議議事録 ・実習訪問記録 ・オープンキャンパス実施マニュアル ・学校説明会実施マニュアル ・クリーンデー実施要綱 ・文化祭実績 ・卒業教育実施記録 ・入学式卒業式ご招待一覧 ・ホームページ（卒業生ページ） ・実習指導者に対する実習事後セミナー開催通知 ・実習事後セミナーへの指導者参加名簿（会議議事録）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>・学外実習について、学校の近隣（埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県を中心に）に依頼し、日頃よりコミュニケーションが取りながら適切に連携し実施している。</p>	<p>・養成課程の特色（理学療法士作業療法士）から、学外実習そのものがインターンシップの特色を備えている。</p> <p>・上尾中央医科グループと連携した実習体制の一環として、実習指導者に向けた研修会を年3回開催し、実習指導の質向上に努めている。</p>

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	梅津 聡
---------------	-------------	--------------	------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的に行い、記録を保存しているか <input checked="" type="checkbox"/> 備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画、危険等発生時対処要領、危機別の行動マニュアルを作成し整備している。 ・新耐震基準施行後に建築認定を受けた建物のため対応している。 ・設備及び保守点検を法令に基づき年二回実施しており、指摘事項に対しても適切に対応している。 ・法令に従い年一度実施している。 ・教具類、備品棚等について転倒防止対策をしている。 ・年1回の防災訓練時に防災研修も実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への周知をおこなっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や職員会議、グループウェアで周知をおこなっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画 ・危険等発生時対処要領（具体的な行動マニュアル含む） ・消防設備等点検結果報告書 ・消防訓練実施計画（結果）報告書 ・安全管理対策一覧
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の学校安全計画を策定している。 ・危険等発生時対処要領を作成している。 ・危機別の行動マニュアルを作成し整備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への周知をおこなっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や職員会議、グループウェアで周知をおこなっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全計画 ・危険等発生時対処要領

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか		<ul style="list-style-type: none"> ・危険物は危険物点検表にて管理し、施錠管理をしている。また、3ヶ月に1回チェックをおこなっている。 ・学外実習、海外研修時等、万が一事故が起ってしまった場合に備え、保険加入及び連絡体制を整えている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・危険物点検表 ・保険加入証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・発生すると学生や職員の生命や心身に危害をもたらす事態に加え、学校の信頼性を損なう事態に対し、未然防止の対応及び緊急事態発生時の対応について、行動マニュアルを整備している。 ・消防設備点検は、法令に基づき実施している。 ・学校の実情に応じた、学校安全計画を策定している。 ・防災訓練を年1回実施し、併せて防災研修も行い防災に対する意識を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に関する職員の研修を年1回実施している。今年度は県政出前講座を利用し、情報セキュリティーについての研修会を実施予定。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	真下 博子
--------	-------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続する教育機関に対し、説明会の実施や訪問による説明、ホームページやパンフレットなどを活用し、積極的に情報提供を行っている。 ・ 保護者向けの学校案内についてはホームページ、保護者会等で入学に向けた説明を行っている。 ・ 入学選考および試験実施については、基準やマニュアルを用いて適切に運用している。 ・ 教員や保護者向けの学校案内を作成している。 ・ 入学選考に関する実績を、授業に活かし取り組んでいる。 ・ 経費内容に対応した学納金を算定しており、協議を経て適切に決定されている。 ・ 入学辞退者に対する対応は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した学生募集を目的に、引き続き活動していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集を効果的に実施する体制として、平成28年度より学生募集委員会を立ち上げ、現状の課題点整理と効果的な募集活動について検討し随時実施している。

最終更新日付

2017年12月18日

記載責任者

神山 真美

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input checked="" type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校や予備校、会場ガイダンスなどにおける進路説明会に参加し、積極的に情報提供を行っている。またホームページにガイドラインに準拠した情報公開をしている。 ・高校教員対象の職業および学校説明会を5・6月2回実施している。 ・教員や保護者向けの学校案内を作成し周知している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路説明会参加実績 ・高校教員向け説明会参加者名簿および説明資料 ・高校教員向け説明会アンケート結果 ・学校公開日資料 ・教員保護者向け資料
7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input checked="" type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input checked="" type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・4月入学時期に合わせ、前年度の10月より募集を開始している。 ・埼玉県専修学校各種学校協会が行う自主規制に従った募集形態としている。 ・志願者の入学相談は電話、個別、各種イベントなどで適時対応している。 ・パンフレットを刷新し、8つの特色について整理して伝えているとともに、ホームページにも明記している。 	・年度により学生募集状況が異なるため、より効果的に行うための検討が必要である。	・今年度実績と振り返りを行い、来年度へ繋がる検討を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項、学校案内(パンフレット) ・志願者等に対する相談体制資料(イベント時の個別相談、イベント以外の個別対応) ・オープンキャンパス、学校説明会、体験入学での配布資料 ・広報関係のチェック体制の資料 ・各イベント参加者アンケート ・入学試験区分別入学実績

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか		<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスは5月から月2回程度実施。体験入学は高校生の夏休みに合わせて7回実施している。 ・志望者のこれまでの経験に大きく左右されるような入試問題は避け、アドミッションポリシーに合致した人財を選考するための入試を幅広い視点で実施している。 			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・接続する教育機関に対し、説明会の実施や訪問による説明、ホームページやパンフレットなどを活用し、積極的に情報提供を行っている。 ・保護者向けの学校案内についてはホームページ、イベントでの保護者会等で入学に向けた説明を行っている。 ・教員や保護者向けの学校案内を作成し周知している。 ・広報や学生募集活動における活動とその成果に関し、委員会を通じ評価すると共に体制についても確認する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集を効果的に実施する体制として、平成28度より学生募集委員会を立ち上げ、現状の課題点整理と効果的な募集活動について検討し随時実施している。

最終更新日付	2017年12月18日	記載責任者	神山 真美
--------	-------------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input checked="" type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験においては外部の採点官や面接官を依頼し公平性を担保しているとともに、入学選考に当たっては基準を定め、会議にて合議の上決定している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・入学試験実施要綱（入試マニュアル） ・募集要項 ・入学試験判定会議議事録
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input checked="" type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学科ごとの進級率、留年・退学状況、国家試験合格率を年ごとに記録し、共有サーバーにて管理している。 ・入試の点数や偏差値などを把握し、個別指導など教育に活かしている。 ・応募者数の予測数値を算出している。（学科別ではない） ・予算書作成の際、受験者数や入学者数の予測を活かしている。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験結果 ・入学者の傾向分析データ ・教育方法の検討資料（各会議議事録） ・入学者等予測データ資料 ・予算・収支計画と応募者数予測の比較資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・入学選考については基準を用いて総合的に判断し、適切に運用している。 ・入学試験実施に当たってはマニュアルを完備し、関わる職員が厳正に対応できるよう徹底している。 ・入学選考に関する実績を授業に活かす取り組みについては、入学試験委員会およびカリキュラム委員会にて継続し取り組んでいる。 	

最終更新日付	2017年12月18日	記載責任者	神山 真美
--------	-------------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input checked="" type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関として必要な経費から学納金を算定しており、学内検討を経て理事会にて決定している。 ・他校の学納金の把握から、その水準について把握している。 ・学納金以外にかかる費用については学生募集要項に明記するとともにホームページにも掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来構想および中期事業計画の見直しに合わせ、学納金の設定についても継続して検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来構想および中期事業計画の見直しに合わせ、学納金の設定についても継続して検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会議事録（学納金変更時のもの） ・学納金一覧 ・学生募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・通知の主旨を理解し、入学前の手続き者には入学辞退者には入学金以外を返還している。またその旨を学生募集要項に明記している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・教育上必要な経費から学納金を算定しており、検討を経て理事会にて協議決定がなされている。 ・将来構想および中期事業計画の見直しと合わせ、学納金についても再検討を継続して行っていく。 ・入学辞退者に対する対応は適切である。 	

最終更新日付

2017年12月18日

記載責任者

神山 真美

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・本校は作業療法士、理学療法士養成校として平成18年に開校以来、入学志願者に恵まれ財務基盤は安定している。法人としては横浜に横浜中央看護専門学校を平成26年4月に開校した。 ・背景に上尾中央医科グループという医療関連グループを持つ為、ほぼ自前で実習施設の確保ができるなど経費も抑えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な学生数の減少については本校も例外ではないが埼玉県内の高校生の減少は全国規模に比べて緩やかである。毎年の学生募集と定員の確保について現在は地元の高校が中心であるが、開校後11年経ち北海道から沖縄県までの卒業生を輩出した実績を活かし今後は全国的に知名度を上げられるように広報活動に力を入れて行きたい。 ・修繕計画は建築物環境衛生技術者らと定期点検を実施し計画的に行っていく。 	

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	目谷 昭
--------	-------------	-------	------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか <input checked="" type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか <input checked="" type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか <input checked="" type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか <input checked="" type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・受験者数、入学者数、定員充足率等については、入試委員会でデータを整理し把握している。 ・収入と支出のバランスは問題なくとれている。 ・翌年度繰越収入超過額にマイナスは発生していない。 ・本校は黒字であるが同法人内にマイナスが発生している。原因を把握し改善中である。 ・設備投資は適切におこなわれている。 ・負債はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の他校は授業料の値上げを理事会にて承認され現在実施中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年見直しを行い、課題が発生した場合、随時対応していく。 ・実施計画の進捗を見守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間の資金収支計算書 ・消費収支計算書 ・財産目録 ・貸借対照表 ・当該年度の予算書
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・最近3年間の財務分析を行っている。 ・最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人寄付行為 ・理事会議事録、中長期計画 ・財務分析結果 ・主要な財務数値と全国平均との比較表

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input checked="" type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか <input checked="" type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか <input checked="" type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか <input checked="" type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・負債はない。 ・キャッシュフローの状況を示すデータはある。 ・教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっている。 ・コスト管理を適切に行っている。 ・収支の状況について自己評価している。 ・改善が必要な場合は今後、財務改善計画を策定する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間の学校基本調査票 ・過去3年間の法人基本調査票 (計算書類と年度が一致した調査票)

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・負債の無い安定した財務基盤で運営している。 	

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	目谷 昭
--------	-------------	-------	------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input checked="" type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っている。 ・ 予算の編成過程及び決定過程は明確になっている。 	・ 特になし。	・ 特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算書（当該年度及び前年度分） （前年度分は予算と決算が比較できる資料） ・ 経理規定
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input checked="" type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input checked="" type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の執行計画を策定している。 ・ 予算と決算に大きな乖離を生じていない。 ・ 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っている。 ・ 予算規程、経理規程を整備している。 ・ 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急修理など今後計画通り行かない場合も想定される。原因究明が必要な場合時間がかかる事が予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乖離が発生した場合は補正予算などで対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補正予算書（補正前後） ・ 議事録 ・ 予算・経理規定 ・ 予算審議理事会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 収入と支出のバランスを考えた計画を実行していく。 	

最終更新日付

2017年12月22日

記載責任者

目谷 昭

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか <input checked="" type="checkbox"/> 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施している。 ・監査報告書を作成し理事会等で報告している。 ・監事は2名とも公認会計士である。 ・監査時における改善意見について記録し、適切に対応している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間の監査報告書 ・報告審議理事会議事録 ・監査法人による監査報告書 ・財務改善計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・監事は2名とも公認会計士である。	

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	目谷 昭
--------	-------------	-------	------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか <input checked="" type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか <input checked="" type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開規程を整備し、適切に運用している。 ・公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成している。 ・財務公開の請求実績はない為、記録はない。 ・ホームページに公開している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報公開規定 ・公開する財務帳票、事業報告書 ・財務公開実績 ・学校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・職業実践専門課程の認定に伴い、本校のホームページに財務情報を公開している。	

最終更新日付

2017年12月22日

記載責任者

目谷 昭

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を適切に行っている。 ・寄附行為、学則を定め、適切に運用している。 ・学生相談に関する規程に基づき、相談窓口を設置し、教職員に対するコンプライアンスの相談窓口を設置した。 ・学則及び細則を周知する為、学生便覧を配布し確認、指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシャルハラスメント防止のための方針を策定しているが、対応マニュアルに従い運用しているが、さらなる周知が必要。 ・教職員に対する学校運営に関わる関係法令等の研修・教育を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法 ・私立学校法 ・専門学校設置基準 ・学校保健安全法 ・専門士の称号の付与に関する規程 ・理学療法士及び作業療法士法 ・建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管理法）

最終更新日付

2017年12月22日

記載責任者

目谷 昭

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法、理学療法士及び作業療法士法等に基づき、適切に行っている。 ・寄附行為、学則を定め、適切に運用している。 ・セクシュアルハラスメント防止のための方針を策定し個別面談時に確認している。 ・学生相談に関する規程に基づき、相談窓口を設置している。 ・学生に対し、学生便覧を配布し、オリエンテーションなどで確認、指導している。教職員に対し相談窓口を設置した。 ・年12回実施している教職員全体会議の中で研修を実施している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学則変更や実習地の追加等の所轄庁への届出書類 ・理事会・評議員会議事録 ・学則及び規程 ・危機管理マニュアル ・学生相談に関する規程（コンプライアンスに関する相談体制資料） ・学生便覧 ・法令遵守の研修・教育実績

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を適切に行っている。また、寄附行為、学則を定め、適切に運用している。 ・セクシャルハラスメント防止のための方針を策定し、個別面談時に確認しているが、対応マニュアルのさらなる周知が必要である。 ・学生相談に関する規程に基づき、相談窓口を設置し、教職員の相談窓口も明確にした。 ・周知のため学生便覧を配布し確認、指導している。教職員に対する学校運営に関わる関係法令等の研修・教育を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療系の国家資格を取得する学校の為、コンプライアンスについては機会があるたびに啓発が必要である。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	目谷 昭
--------	-------------	-------	------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護管理規程及び方針を策定している。 電磁記録については情報保護管理規程第16条にて規定を定め運用している。 個人情報データ取得時のセキュリティ対策として、暗号化通信を導入している。 教職員には会議や朝礼で啓発し、学生には、SNSにおける個人情報取り扱いガイドブック及び実習要綱を活用し、指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> 規程、方針の見直し及び適切な運用が必要である。 電磁記録の取扱いに関する規程の見直しを行ったがより周知の必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 規程及び方針を見直し、適切に運用していく。 電磁記録の取扱いに関する規程を含む情報保護管理規程の周知を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護管理規程 セキュリティポリシー等 個人情報保護に関する組織体制、会議録 事故発生時マニュアル、対応の記録 個人情報保護に関する研修・教育実施記録 SNSにおける個人情報取り扱いガイドブック (日本看護学校協議会共済会 発行) 実習要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護管理規程及び方針を策定しているが、規程、方針の見直し及び適切な運用が必要。 個人情報データ取得時のセキュリティ対策として、暗号化通信を導入している。 学生に対しては、SNSにおける個人情報取り扱いガイドブックを活用し、指導を行っている。教職員に対しては、個人情報取り扱いに関する研修・教育を計画し実施中である。 	

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	目谷 昭
--------	-------------	-------	------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学則及び学校評価実施規程を策定し、実施している。 ・学校長を筆頭に学校評価委員会を設置し、毎年度取り組んでいる。 ・毎月の委員会で継続取組の確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則及び学校評価実施規程 ・評価の為の組織体制に関する資料
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価報告書を作成している。 ・自己評価結果を本校のホームページに掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価報告書 ・公表内容、本校ホームページ
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input checked="" type="checkbox"/> 実施のための組織体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学則及び学校評価実施規程を策定し、実施している。 ・学校評価実施規程で組織体制、委員の構成を策定している。 ・毎月の委員会で継続取組の確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学則及び学校評価実施規程 ・評価の為の組織体制に関する資料 ・評価委員名簿
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価報告書を作成している。 ・学校関係者評価報告書を本校のホームページに掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度見直しを行い、課題が発生した場合は、随時対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価報告書 ・本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・学則及び学校評価実施規程を策定し、自己評価および学校関係者評価を実施している。評価結果については、本校のホームページに掲載している。 ・評価結果に基づく改善取組については、毎月の委員会で継続取組の確認を行っている。 	

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	目谷 昭
---------------	-------------	--------------	------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供等への取組に関するガイドラインに基づき、本校ホームページ等で公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 提供する情報が古いものにならないよう、最新の情報提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 提供する情報が古いものにならないよう、最新の情報提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン 本校ホームページ、学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> 情報提供等への取組みに関するガイドラインに基づき、本校ホームページ等で公開している。また、提供する情報が古いものにならないように最新の情報提供を継続して努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進学サイト、進学情報誌においても情報提供を行っている。

最終更新日付	2017年12月22日	記載責任者	目谷 昭
--------	-------------	-------	------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年8月に方針・規程を策定し、キャリア教育及び職業教育、地域への公開講座、介護予防事業への参画を通じ社会・地域貢献へ取り組んでいる。 ・教職員・学生に対し重要な社会問題に関する研修と教育についても取り組んでいる。 今年度の公開講座（研修・教育の機会）は、10月に認知症サポーター養成講座を実施し、3月に体力測定・アッピー元気体操の実施を予定している。 ・学生のボランティア支援を円滑に行う為、支援体制及び規程に基づき、活動を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方針・規程に基づき、教職員への浸透を図る。 ・今後も活動を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生へのボランティア推奨について、3年課程で学業が過密スケジュールとなっている為、実際に参加することが難しい状態である。

最終更新日付	2017年12月18日	記載責任者	神山 真美
---------------	-------------	--------------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input checked="" type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input checked="" type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input checked="" type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input checked="" type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input checked="" type="checkbox"/> 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか	4	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年に方針・規程等を策定している。 カリキュラム委員会、関連企業への教員派遣等を通じ教育方法の検討と協力をしている。 職能団体および上尾市等行政からの委託事業は積極的に受託している。 職業団体(県士会)、関連業界、卒業生が開催する研修会や勉強会、研究活動に対し施設利用を支援している。 上尾中学校、高校等へ教員派遣し職業説明や模擬授業を実施している。 学内見学・体験授業を実施している。 第1回の公開講座を10月開催し、第2回を3月に予定している。 省エネ・ゴミ分別など資源削減の為に、節電や美化活動を行っている。 その他年2回の社会問題に関する学内教育を計画している。	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> 社会地域貢献規程 カリキュラム委員会承諾書・会議議事録 委嘱書 施設等使用に関する規程 施設利用願・許可書 ガイダンス等参加実績表 委員会議事録 活動報告書 参加者一覧

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか	—	・非該当	・非該当	・非該当	・非該当

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<ul style="list-style-type: none"> ・方針・規程については平成28年8月に策定済み。 ・学校の特色、リハビリ専門職を生かした社会・地域貢献活動が実現してきている。今後も、キャリア教育及び職業教育、地域への公開講座など、計画をもとに活動を継続していく。 	

最終更新日付	2017年12月18日	記載責任者	神山 真美
--------	-------------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input checked="" type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学業に影響がない範囲で活動への参加を推奨している。 ・支援体制を見直し手続きフローを作成済み。 ・学生参加状況を把握している。 ・委員会を中心に活動結果を整理し、学内で共有を図っている。また年度末に活動実績の評価を実施している。 	・特になし。	・特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会地域貢献規程 ・学生ボランティア支援体制 ・ボランティア参加実績一覧 ・委員会議事録・資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・学生ボランティア活動の支援を行う体制は整っている。	・3年課程で学業が過密スケジュールとなっている為、推奨はしても実際に参加することが難しい状態である。

最終更新日付	2017年12月18日	記載責任者	神山 真美
--------	-------------	-------	-------

4 平成29年度重点目標達成についての自己評価

平成29年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>1) 教育活動のさらなる充実</p> <p>①国家試験合格率 100%</p> <p>②就職率 100%</p> <p>③進級率 100% (進路変更などやむを得ない理由もあるため、実質的な目標数値は90%以上)</p> <p>④教員の研修参加率 全員60%以上 (年間予定本数*に対する参加本数) *年間予定本数は3本以上 *予定本数の現実性・実行予定・進捗確認などについて、自己管理と面談での確認を強化</p> <p>⑤教員研究 1人1研究実施 (教育・臨床などの分野は問わず) *研究実施予定・進捗確認などについて、自己管理と面談での確認を強化</p> <p>2) 将来を見据えた、透明性の高い学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価にて「適」となる ・第三者評価を経て、本校の強みを明確化する ・高校教員、保護者、実習指導者への学校公開の実施 (各々年1回以上) ・学校の将来構想に見合った(教員要件に係る)人事規程等の完成 <p>3) 学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート「学校の施設・設備は十分に整っている」における肯定回答*率80%以上 (平成28年度は学生72%、保護者89%) <p>4) 学生募集活動の安定 (資料請求からのイベント参加率強化→受験者数の増加)</p> <p>①資料請求者総数 1,300件</p> <p>②イベント参加者(本人) 624人(延べ人数)</p> <p>③受験者数(PO合計) 162人(延べ人数)</p>	<p>1) 教育活動のさらなる充実</p> <p>①国家試験合格率 PT90.9% OT83.3%</p> <p>②就職率 (現在の内定率) PT100% OT100%</p> <p>③進級率 PT99.2% OT86.5%</p> <p>④教員の研修参加率 (現在の参加率) PT75.0% (25~100) OT61.9% (25~100) (年間予定本数に対する参加本数)</p> <p>⑤教員研究 PT100% OT71.4%</p> <p>2) 将来を見据えた、透明性の高い学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価 修了(適) ・学校公開: 高校教員2回、保護者1回、実習指導者3回(事後セミナー参加)実施 ・学校の将来構想に見合った(教員要件に係る)人事規程等の完成 未達成 <p>3) 学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートにおける肯定回答率 学生79%、保護者90% <p>4) 学生募集活動の安定</p> <p>①資料請求者総数 1,337件</p> <p>②イベント参加者(本人) 566人</p> <p>③受験者数(PO合計) 125人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・両学科の国家試験合格率 ・理学療法学科の教員研修におけるばらつき ・作業療法学科の進級率、退学率、教員研修および研究の実施状況におけるばらつき <p>・第三者評価報告書における課題点として、中期事業計画の具体性、設置法人(他学校)の収支改善、中途退学低減への継続した取り組み、が挙げられている</p> <p>・学校アンケートのフリーコメントにて学習環境に対する意見は、学生からの希望として「学食や売店の希望(12件)」「Wi-Fi設置(7件)」「トイレ環境の改善(暖房便座、ウォッシュレット、音姫など)(3件)」「開校時間延長(2件)」などがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加総数および受験者数